

時 の 言 葉

東京では鉄骨造、鉄骨コンクリート造の新築が甚だ活況を呈して居る。大阪でも最近はかなり現場が散見される。漸く建築界も本格的な活動期に入ったようである。

然るに先般既にニッケル等の使用制限が実施され、また6月16日付の新聞は建築に使用する鉄鋼、木材等の制限を伝えて居る。何時も自由の到来するが最も遅く、その後退するのが最も早い建築界の傾向を、この度も如実に示して居るのである。

勿論伝えられる制限はキャバレー、待合等の享楽建築の由である。然し乍ら敗戦直後の厳しい制限の下でもいち早く新築の行われたのは、この種享楽建築ではなかつたか。今度制限を行つてもやはりその種の建築は何かの名目で相変らず新築され、結局最後に制限によつて起る不自由を負わされるのは庶民住宅の建築ではないのだろうか。

本来ならば未だに住むに家なき多くの人々が放置されて居る今日、世界情勢の変化を待つ迄もなく、不急の建築は抑制されて居て不思議ではない。だから享楽建築に何等かの制限が行われること自体に異議はない。たゞそれは表面の体裁で、結局実質的には庶民の



負担になるのではなからうかと云うことが案ぜられる。何しろ国会で認められた不十分な結核対策費が「国力にふさわしくない」との理由でその削減を考慮する人も居るのだから、次には「国力にふさわしくない」から庶民住宅の建築も制限されるかも知れず、以上の様なことを云うのはまだ人間が甘いのか知れない。

時 の 言 葉	(1)
新 建 築 紹 介	
志摩観光ホテル	(2)
ホテル マルエイ	(6)
ホテル エル・パナマ	(9)
志摩観光ホテル詳細図	(11)
記 事 欄	
志摩観光ホテルの企画と設備	竹内 孝 (14)
設計について	村野 藤吾 (18)
志摩観光ホテルの施工者として	懸山良雄・近藤鉄治 (21)
開業に際して	川口四郎吉 (23)
紫 烟 室	
ソ連の一建築家のこと	阿部 寅次郎 (24)
私の手習帳	高橋 慶夫 (26)
図 譜	
衛生陶器工用図面	関西建材会編 (27)
建築積算便覧	(29)
会員動静及会務会報	

建 築 と 社 会

1951

7